

日本福祉大学生協
2025年度
卒業生アンケート報告

ページ 内容

- 1 調査概要
- 2 大学時代の経験
- 3 大学時代に経験できなかったこと
- 4 大学時代のSDGsの関わり
- 5 大学生活は充実していましたか？
- 6 大学生活を一言で表すと!?
- 7 大学生から次のステージに向かう卒業生
- 8 卒業前後の不安や困り事
- 9 卒業生が見た大学生協
メッセージ集

調査概要(速報値)

目的

- 卒業生の大学時代の経験や教訓を後輩に伝え、より良い大学生活を送れるようサポートする
- 卒業される組合員の声を大切に、今後の大学生協の事業活動の改善に取り組む

方法

- Googleフォームを活用したインターネット調査
- 卒業予定学年の大学生協学生組合員へのメール連絡。チラシ、HPでの呼びかけ

時期

- 2025年10月～2026年3月

回答

- 東海地区で2025年度卒業予定の大学生協組合員のうちメール受信可能な方 24,975人
- 回答者は東海地区でのべ3000人見込み／日本福祉大学の対象人数等は備考参照

備考

- 卒業前後の卒業生の生活スタイルを踏まえ、3つの時期とテーマを設定し、調査を実施予定

	第1回	第2回	第3回
時期	2025年 10月1日～3月31日	2026年 2月2日～3月31日	2026年 2月24日～3月31日
テーマ	大学生活の経験	大学生活の教訓	卒業前後の困り事
内容	卒論・卒研で多忙期のため簡単に大学生活の経験を振り返る内容	卒論・卒研終了後大学生活を振り返り自由記述中心の内容	就職準備、新生活準備に関わる内容 大学生協への評価
対象人数	971人	965人	961人
回答数	33	8	11
回答率	約3.4%	約1.2%	約1.1%

2025年度卒業の大学生活と社会情勢

年	4年制	6年制	2年制	社会の出来事や大学生活の出来事
2020		1年生		4月～コロナ禍:「緊急事態宣言」 ・大学の授業はオンライン化 ・部活・サークル・アルバイトの行動制限
2021		2年生		東京オリンピック・パラリンピック コロナ禍ワクチン接種開始
2022	1年生	3年生		ロシアによるウクライナ侵攻 円安、資源高により物価高騰 生成系AI(チャットGPT)登場
2023	2年生	4年生		5月 コロナ5類移行 イスラエル・ハマス軍事衝突 野球＝大谷翔平選手、将棋＝藤井聡太竜王の活躍
2024	3年生	5年生	1年生	1月・9月 能登半島 地震・豪雨災害 パリオリンピック・パラリンピック 野球＝大谷翔平選手50-50達成／新紙幣発行
2025	4年生	6年生	2年生	大阪・関西万博／トランプ関税／高市内閣発足 イスラエル・ハマス間のガザ和平交渉合意 『令和の米騒動』・政府備蓄米放出／物価高続く

2: 大学時代の経験

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 - ②大学外かつ国内での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 - ③大学外かつ国外での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 - ④～⑥あなたが大学生生活で1番・2番目・3番目に「時間を費やした」事柄を教えてください。【複数回答】
- ※上記について以下選択肢からひとつを選ぶ
 勉学・研究／試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)／試験合格や資格取得を目指した稽古・練習／アルバイト／社会人活動(収入を得て働く)／所属する学内団体への活動(部活・サークル等)／所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)／趣味を充実させる／余暇を充実させる(遊び)／身体を鍛える／特に思いつかない／他

■ 大学時代に経験したこと・経験の時期

回答者数(人)	経験内容(%)	経験無	経験有合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	卒業までに経験する予定
33										
学内	クラブサークルの加入	30.3%	69.7%	42.4%	33.3%	30.3%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	学会や研究会での発表(オンライン)	72.7%	27.3%	0.0%	3.0%	9.1%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%
	学会や研究会での発表(対面)	57.6%	42.4%	6.1%	12.1%	12.1%	15.2%	0.0%	0.0%	6.1%
	怪我や病気で大学に行けない期間(数日～10日程度)	54.5%	45.5%	12.1%	15.2%	18.2%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	怪我や病気で大学に行けない期間(10日間以上)	75.8%	24.2%	3.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%
学外(国内)	インターンシップ(数日程度)	36.4%	63.6%	0.0%	6.1%	51.5%	21.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	インターンシップ(1週間以上)	75.8%	24.2%	3.0%	6.1%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%
	短期間のアルバイト(単発:数日程度)	39.4%	60.6%	36.4%	36.4%	24.2%	18.2%	0.0%	0.0%	6.1%
	長期間のアルバイト(1カ月以上)	18.2%	81.8%	72.7%	69.7%	69.7%	60.6%	0.0%	0.0%	3.0%
	国内旅行	12.1%	87.9%	51.5%	66.7%	57.6%	57.6%	0.0%	0.0%	12.1%
学外(国外)	ボランティア活動	33.3%	66.7%	21.2%	27.3%	36.4%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	海外旅行	69.7%	30.3%	0.0%	3.0%	3.0%	12.1%	0.0%	0.0%	6.1%
	語学研修	81.8%	18.2%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%
	留学	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%
	海外でのインターンシップ	87.9%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%
	海外でのアルバイト	87.9%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%
	海外でのボランティア	87.9%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%

✓ 2021年入学の人達は大学1年夏休み頃までコロナ禍の行動制限の影響を受けながら大学生活をスタートさせました。

■ 大学生活で一番時間を費やした事柄

大学生活で一番時間を費やした事柄/回答者数(人)	33
勉学・研究	21.2%
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	9.1%
試験合格や資格取得等を目指した稽古・練習	0.0%
アルバイト	27.3%
社会人活動(収入を得て働く)	0.0%
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	6.1%
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	3.0%
趣味を充実させる	15.2%
余暇を充実させる(遊び)	12.1%
身体を鍛える	3.0%
特に思いつかない	3.0%
他	0.0%

■ 大学生活で時間を費やした事柄総合順位

大学生活で時間を費やした事柄【総合順位】	換算P	順位
勉学・研究	35	2
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	22	5
試験合格や資格取得等を目指した稽古・練習	1	11
アルバイト	48	1
社会人活動(収入を得て働く)	0	12
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	10	6
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	5	8
趣味を充実させる	32	3
余暇を充実させる(遊び)	30	4
身体を鍛える	4	9
特に思いつかない	9	7
他	2	10

(もっとも時間を費やした事柄=3P、2番目=2P、3番目=1Pとし総合換算ポイントを算出)

参考資料: 東海地区の暦年の変化<大学時代に経験したこと>

※東海地区内の暦年の結果(単位: %)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
クラブ・サークル加入率	79.6	68.8	73.1	74.0
学会や研究会での発表(オンライン)	32.8	30.2	23.5	19.0
学会や研究会での発表(対面)	39.8	48.0	46.1	49.0
ボランティア活動(国内)	48.0	42.2	47.1	48.0
海外旅行	37.5	47.6	49.3	53.0
語学研修	14.2	15.0	16.1	16.0
留学	14.2	16.2	16.0	16.0

3:大学時代に経験できなかったこと

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はありますか？【ある/ないの選択式】
- ②経験しておきたかったけどできなかった経験について(その1/その2/その3)【選択式】
- ※選択肢:海外留学・語学研修、海外旅行、国内旅行、クラブ・サークル活動、ボランティア活動、アルバイト、資格取得、インターンシップ、恋愛、人間関係の幅を広げる、その他
- ③経験できなかった主な要因は何ですか？【質問②その1~その3について最大の要因、第2の要因、第3の要因を質問【選択式】】
- ※選択肢:コロナ禍で経験の機会が奪われた、時間に余裕が無かった、お金の余裕が無かった、「そのうちやろう」と先延ばしにした、タイミングが合わなかった、このアンケートで思い出した、その他

■ 大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はある？



日本福祉大学の卒業生の **63.64%** があると回答しました

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験の内容

経験しておきたかった内容:合計	(延人)	順位
海外留学・語学研修	3	2
海外旅行	7	1
国内旅行	2	4
クラブ・サークル活動	1	7
ボランティア活動	0	9
アルバイト	2	4
資格取得	0	9
インターンシップ	1	7
恋愛	2	4
人間関係の幅を広げる	3	2

■ 経験できなかった要因

経験できなかった要因【総合】		順位
コロナ禍で経験できず	2.3%	7
時間に余裕がなかった	22.1%	1
お金の余裕がなかった	20.8%	3
気持ちに余裕がなかった	21.5%	2
先延ばしにした	13.7%	4
タイミングが合わなかった	10.1%	5
このアンケートで思い出した	5.5%	6

経験その1~その3それぞれ「最大の要因=3P、第2の要因=2P、第3の要因=1P」とし、換算Pを算出。換算P合計における割合を示している

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験のある先輩からのアドバイス

<p>学生のうちにやれることはやっておこう！行けるところは行ってみよう！</p> <p>(看護学部卒)</p>	<p>四年生になってやればよくなったなーと感じることがポツポツでできます！人生長いけど、やりたいことを自由にできる時間はこれからあんまなくなるなーと思うので、今やれることはたってみたらどうかな！楽しいと思うよ！(社会福祉学部卒)</p>	<p>時間のある大学生の時期でしかできないことにはお金をたくさん使うべきだと思います。(スポーツ科学部卒)</p>
<p>やりたいと思ったらすぐに行動するべき</p> <p>(健康科学部卒)</p>	<p>就活のアピールポイントのためや、人脈拡大のために、サークルに入った方がいい</p> <p>(教育心理学部卒)</p>	<p>何事も積極的にそして早めにやりたいことは経験したほうがいいと思います。(経済学部卒)</p>

4: 大学時代のSDGsへの関わり

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

あなたはSDGsにおける 関心のある課題に対してどのような関わりをしましたか？

関心がなく何もしなかった／関心はあったが特に何もしなかった／関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした／関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした

SDGsについてあなたが起こしたアクションについて

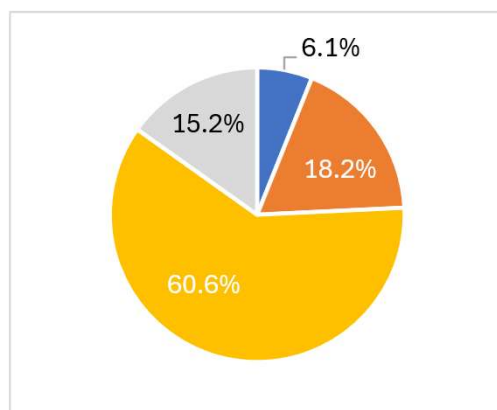
①17のテーマ(複数回答可)

②あなたが起こしたアクションを具体的に教えて下さい(複数回答可)

知識を深めるためのセミナーや学習会に参加/SNS上で自分の意見や考えを発信/署名活動に参加/クラウドファンディングや募金などの資金提供/集会やデモへ参加/就職先を検討する際に重要視した

■SDGsへの関わり

回答者(人)	33		
関心のあるものについて 自分でできる行動を起こした	2	6.1%	
関心のあるものについて 情報を調べる、考える等の行動をした	6	18.2%	
関心はあったが 特に何もしなかった	20	60.6%	
関心がなく何もしなかった	5	15.2%	



■どんなテーマに対してどんなアクションを起こしたり行動したか

有効回答者(人)※複数選択	8		
1 貧困をなくそう	3	37.5%	1
2 飢餓をゼロに	2	25.0%	4
3 すべての人に健康と福祉を	2	25.0%	4
4 質の高い教育をみんなに	0	0.0%	11
5 ジェンダー平等を実現しよう	3	37.5%	1
6 安全な水とトイレを世界中に	1	12.5%	7
7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	0	0.0%	11
8 働きがいも経済成長も	0	0.0%	11
9 産業や技術革新の基礎をつくろう	0	0.0%	11
10 人や国の不平等をなくそう	2	25.0%	4
11 住み続けられるまちづくりを	1	12.5%	7
12 つくる責任 つかう責任	3	37.5%	1
13 気候変動に具体的な対策を	1	12.5%	7
14 海の豊かさを守ろう	1	12.5%	7
15 陸の豊かさを守ろう	0	0.0%	11
16 平和と公平をすべての人に	0	0.0%	11
17 パートナーシップで目標を達成しよう	0	0.0%	11



<参考資料>

東海地区での暦年の調査結果より

✓ SDGsに対する行動はこの数年で減少傾向といえます。

東海地区暦年の推移(%)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
関心のあるものについて自分でできる行動を起こした	8.5	10.4	9.6	7.5
関心のあるものについて情報を調べる、考える等の行動をした	24.6	24.6	19	16.9
関心はあったが特に何もしなかった	44.8	38.7	43.7	47.8
関心がなく何もしなかった	22.2	26.2	27.7	27.8

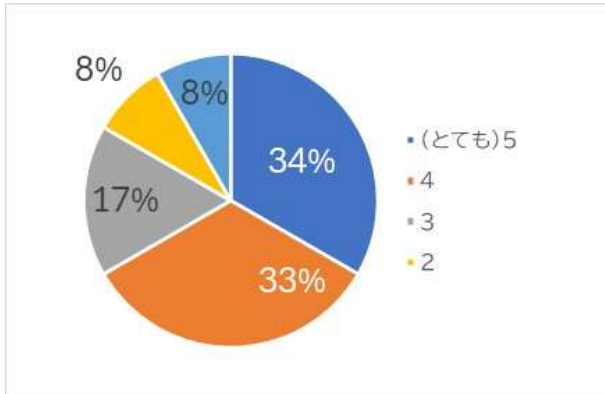
5: 大学生活は充実していましたか？

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学生活はどれくらい充実していましたか？(5件法)5とても～1まったく)
- ②以下の事柄においては充実していましたか？YES/NO
 勉学・研究活動／部活・サークル／友人の存在／憧れ・目指す人の存在／推しの存在／恋愛／やりたいことをやれた／
 将来の展望が開けた／自己肯定感があがった／自分にとって価値のある成果を残せた
- ③大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験について具体的に教えてください

■ 大学時代生活はどれくらい充実していましたか？



■ 以下の事柄については充実していましたか？(YES/NO)



充実度1位

友人の存在

充実度2位

勉学・研究活動

やりたいことをやれた

■ 大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験・エピソード。そこで得た教訓。

<p>物事に対して疑問を持つようになった。根拠は何かや言葉の意味、相手の話の真偽を自分で調べて学習することが、精神保健福祉士を目指す過程で行なった報告会などから成長していった。 (社会福祉学部卒)</p>	<p>論文を書いて、自分に長い文章が書けることがわかった。諦めないことが大事。 (健康科学部卒)</p>	<p>一人暮らしを始めて、自立する大変さを知ったが自分なりに上手く両立しながら生活できるようになった。スケジュールをしっかり立てることが大事。 (教育・心理学部卒)</p>
<p>サークルの先輩から誘われて、南知多ユニバーサルプロジェクトに参加した。その際の海での活動で障がいがあるけど、海でも遊べる。選択肢があり、挑戦出来れば、人は変わることを、学んだ (健康科学部卒)</p>	<p>障害やそれを取り巻く要因などについて詳しくなったこと。その人ひとりを見るだけではわからないことが多数存在するため、周りの環境や社会的な環境についても見るべきであること (社会福祉学部卒)</p>	<p>就職活動で、自分を見つめ直せたこと。他者から見た自分を知ることで、自己肯定感は上がる (教育・心理学部卒)</p>

6:大学生活を一言で表すと！？

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学生活を「ひとこと」で表してください
- ②「ひとこと」で表した背景を教えてください

短	やりたいことはまだまだ沢山ありますが、4年間もあると考えていると何もできずに終わってしまいます。今年入学する一年生の方にはぜひ、自分のやりたいこと、やりたくないこと、興味があること、ないこと全てに拘らずいろんなことを体験して行動する4年間にしてください。後悔した頃には卒業しています。(社会福祉学部卒)
人	今まで会ったことのない人に出会ったり、人との関わりが増えたりして、他者や自分を感じるが多かったから。(教育・心理学部卒)
成	大学生活で成長できたと感じたからです。(社会福祉学部卒)
人	人との関わり、人として生きるためにどうすれば良いかを学ぶことができました。(社会福祉学部卒)
悩み	様々なことに悩んだ4年間だった。人間関係や学習に対してもだが、自分の考え方や感じ方が何が正解で何が不正解なのか、自分が関わったことで相手にマイナスな影響を与えてしまうのではないかなど悩んだ。(社会福祉学部卒)
充実	良くも悪くも大変だったけれど、無事第一希望に内定ももらえて充実していた(健康科学部卒)
人付き合い	人と関わりを持つと、色んな視野が見えて、色んなことに挑戦出来たから(健康科学部卒)
自分を知ることができた	高校までの生活とは違い、自分で受ける講義を決められたことやそれに伴って自由な時間が増えたことにより、自分のやってみたいことをやってみたり、興味がある物のなかで自分に適正のようなものがあるのかを知ることができたりしたため。(社会福祉学部卒)
諸業務上	就活どれだけ頑張っても落ちたところもあるし、あんまり努力せずに受かったところもある、努力が報われない年齢になったんだなと思った(社会福祉学部卒)

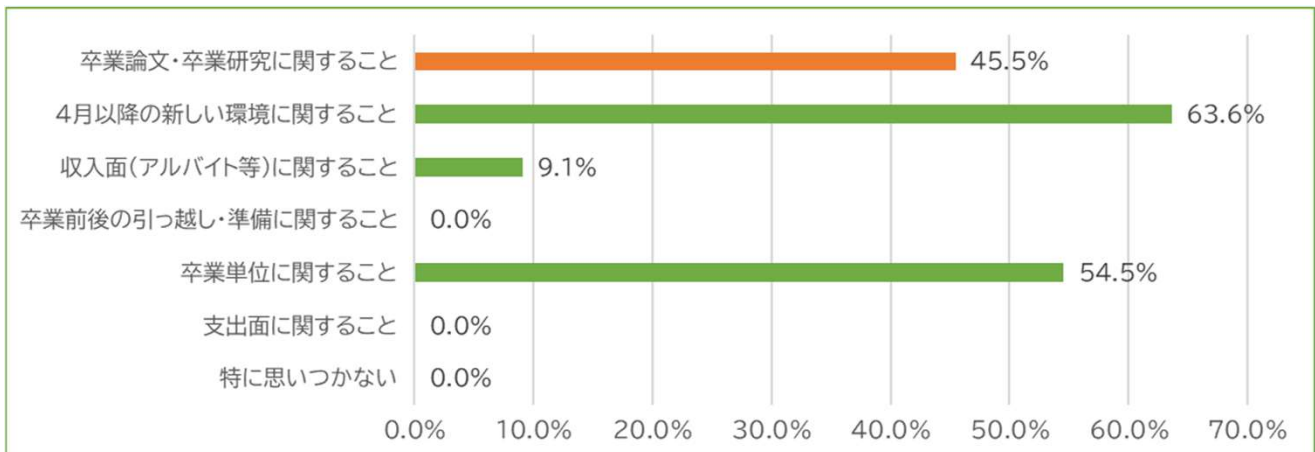
7: 大学生から次のステージへ向かう卒業生

<第3回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ① 昨年秋頃から現在、以下の項目で不安を感じたり、苦労したこと(していること)はありますか？(複数選択可)
 卒業論文・卒業研究に関すること／卒業単位に関すること／支出面に関すること／収入面(アルバイト等)に関すること／卒業前後の引っ越し・準備に関すること／4月以降の新しい環境に関すること(うまくやれているか、など)／特に思いつかない
- ② 上記回答いただいた事柄について、具体的にどのような不安や苦労したこと(していること)を教えてください。
- ③ 「もっとこうしておけばよかった」「事前に知っておきたかった」と思うことがあればご記入ください。

■ 卒業学年の秋から春にかけて不安を感じたり苦労したこと(複数回答)



■ 卒業論文・卒業研究に関する具体的な困り事と「こうすればよかった」

エピソード	こうすればよかった！
学生の時間の使い方と大きく変化する不安	授業や先生のことをもっと知っておけば良かった。知ってる先生かつまあ良いと思ったゼミに参加したが、その後もっと入りたいと思うゼミが出てきてしまった(社会福祉学部卒)
卒業論文のアンケート調査やインタビュー調査が思ったように進まず、期限内に完成させることができるか不安だった。 就職活動が終わり、入社説明会などに参加したが、気を張りすぎてしまい気疲れが多く、4月からうまくやれているのか不安になった。	卒業論文のテーマを重く限定的に考えすぎず、普段の授業や活動からいくつか気になるテーマを出しておいたらよかった。(教育・心理学部卒)
卒業できるかどうか	早めに単位を取る(社会福祉学部卒)
卒業できるかどうか	先を見越しての行動(教育・心理学部卒)
学校の単位が取れず、何度も同じ授業を受け直したが、怠慢により、朝起きられず苦しかった。また、就職先が決まらないまま卒業するため、不安である。	もっと勉強ちゃんとすれば良かった。(教育・心理学部卒)
編入で時間がない中、期限内に終わるかどうか。体調崩さずやっつけていけるか。	3年次編入ではなく、2年からにしてあげれば良かった。(社会福祉学部卒)

8:卒業前後の不安や困り事<東海地区の学生の声>

<第3回卒業生アンケート結果>

■ お金に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
実験をするとバイトをする時間が無くなり、金銭的に厳しい	奨学金の申請をすればよかった (国公立・学部卒・理系)
大学院生として独立して生活することを想像すると、扶養内でも可能な限り稼いでおけばよかったと思う	給付型の奨学金があること、それは課税対象ではないが、一定額を超えると保険の扶養から抜ける必要があることなどの社会システムの知識をもっと早く調べておけばよかった(国公立・学部卒・医・歯・薬・看護系)
卒業旅行が多く入り、支出が多かった。就活が忙しい時期にバイトを辞めてしまっており、4年からでは雇ってくれるところが少なく苦労した。	長期バイトを続けておけばよかった。 (国公立・学部卒・文系)
就活が終わった解放感と卒業旅行などで出費がかさんで、お金の使い方を見直すこと。	定期的に貯金しておけばよかった。もっとたくさん旅行にいけばよかった。派手髪やネイルなど学生のうちにしか出来ないことをやれば良かった(私立・学部卒・文系)

コラム:卒業学年生への奨学金制度について調べるには…

<方法>

①大学窓口相談(大学HPで奨学金に関するページを集約している大学もあります)

②WEBサイトで情報収集する

(キーワード例:「民間財団 給付奨学金 最終学年」「大学4年生 奨学金 2026」等)

※4月締切の制度も多いのでご注意ください。家計の収入が急に減少した場合は時期に関係なく随時申し込める制度もあります。大学窓口へ相談しましょう

■ 社会人生活準備に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
引っ越し業者に頼んだ方が良いのか、それとも自力でやるべきなのかぎりぎりまで迷った。	卒業1年前から荷物を少しずつ減らしておくべき。売ったり、捨てたりして(国公立・学部卒・理系)
早起きの習慣がない、週5労働の不安感	早寝早起きの習慣化 (私立・学部卒・文系)
引越し費用の相場と実際にかかる費用のギャップへの不安。卒業式に向けての袴が決まらないことへの不安と苦労があった。	先輩たちの引越しの話聞いておけばよかった。 (国公立・学部卒・文系)
修士論文を書いていたらいつの間にか3月になっており、3月末の引越しのために業者を探しましたが、かなり高い見積もりを出され、家族に頼りました。修士論文を書き終わった後に自動車学校に通い始めたので、本当に時間がありませんでした。	引越し前後はやることが多いのと、自分の送別会で忙しいので、とにかく早く行動しておけばよかったなと思いました。(国公立・大学院卒・理系)

コラム:大学生協を活用してスムーズな卒業準備を

■一人暮らしに関する情報

[大学生協の引越しプラン](#) / [退居準備お役立ち動画集](#)
[新社会人向けお部屋探し](#)

■社会人になる前に押さえておきたいお金に関する知識

[身近なお金のセミナー](#)



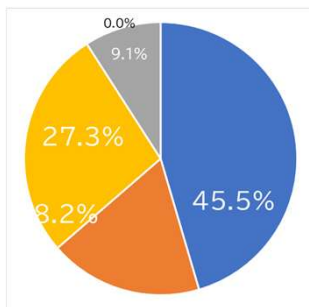
9: 卒業生が見た大学生協

<第3回卒業生アンケート結果より>

【質問内容】

大学生協に対する満足度を教えてください(5件法 5とても満足～1とても不満)

回答者(人)		11	
(とても満足)5		5	45.5%
4		2	18.2%
3		3	27.3%
2		1	9.1%
(とても不満)1		0	0.0%




日本福祉大学の卒業生における
生協満足度は
2025年度

4.00
でした

【質問内容】

大学生協は「4つの使命」のもと、事業活動を行っています。ご存じでしたか？
知っていた／なんとなく知っていた／今初めて知った

回答数(人)	11	
知っていた	2	18.2%
なんとなく知っていた	3	27.3%
今、初めて知った	6	54.5%



つながる元気、ときめきキャンパス。

1. 学生・院生・教職員の**協同**で大学生生活の充実に貢献する
2. 学びのコミュニティとして大学の理念と目標の実現に**協力**し、高等教育の充実と研究の発展に貢献する
3. **自立**した組織として大学と地域を活性化し、豊かな社会と文化の展開に貢献する
4. 魅力ある事業として組合員の**参加**を活発にし、協同体験を広めて人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する

【質問内容】大学生協があって良かったな、と感じた場面やエピソード、思い出について自由にご記入ください

- ・ご飯が食べられた・保険があったこと。初めての一人暮らしも安心できた。
- ・部活動をしていたため、学食や生協のコンビニにはとてもお世話になりました。
- ・安い・ノートなど足りなくなった際にすぐに買いに行けたこと
- ・卒業式で着る袴を生協を通して借りられたこと。卒業式の当日に学校で着付け、返却ができること。
- ・パソコンなどのサポートがあってよかった。
- ・学食の利用や急に文房具が必要になった時に便利

先輩からのアドバイス

ちょー大変だけど頑張っ！いける！

たくさん友達を作る

案外どうにかなるものです。そのままでも、大丈夫です。

色んな視野を見て、考えてほしい

大学生活あっという間なので色んなことをして、楽しんでください

友達を大切にしたい方がいいよ。又、バイトとサークルは大事だよ！

羽目を外しすぎたりしない限りは色々なことに挑戦してみると良いかもしれない。新しい出会いとか自分でも知らなかった自分が見えてくるかも…自分はそうならなかったけど。

思っていたよりも楽しい大学生活だった。何かやるか悩んだらとりあえずやってみるの選択肢、間違ってたよ。

自分が大学で学びたいことの下調べは、高校でしっかりしておく。

様々な先生に分からないことを早めに聞きに行くべき